

様式 2

医学系研究に関するお知らせ

2023 年 2 月 24 日

本院では、患者様の診療情報等を用いた研究を実施しています。この研究は、日本臨床歯科学会の倫理審査を経て実施される研究です。ご自分の診療情報等が本研究に用いられることを望まれない患者様は、末尾に記載した連絡先にご連絡ください。不利益を受けることは一切ありません。

研究課題名	象牙質知覚過敏症に対するフッ素イオン導入法の至適条件の検証
研究責任者	綿引 淳一
研究体制	研究分担者（氏名・所属医学系研究機関・職階） 上野博司・上野歯科医院・院長 行田長隆・友和デンタルクリニック・院長 榑原毅・さかきばら歯科・院長 笹生宗賢・むね歯科クリニック・院長 長谷川幸生・はせがわ歯科医院・院長 和田明大・東京日本橋 AQUA 歯科・矯正歯科包括 CLINIC・勤務
研究（症例）の背景・目的・意義	背景：象牙質知覚過敏症は、国際歯科連盟によって象牙質過敏症の管理に関する具体的なガイドラインを確立するための証拠は不十分とされている。 目的： 我々は象牙質知覚過敏症の治療法として長期安定性があり組織為害性が少なく、さらに根面カリエスの予防に有効であるフッ素イオン導入はその後の根面被覆術に影響を与えない治療法とし有望であると検証することとした 意義： イオン導入装置の新たな使用方法（10 分間フッ素イオン導入）による象牙質過敏症の治療効果を検証できる、疫学データが必要である。
研究対象	象牙質知覚過敏を有する歯
研究方法	イオン導入前・3 分間イオン導入後・7 分間イオン導入後に送気を行って知覚過敏の程度を評価する
研究実施期間	2021 年 1 月 1 日～2024 年 5 月 31 日まで
研究（症例）に用いる試料・情報の種類	試料：全身疾患と Numetric Rating Scale を記録した用紙 情報：全身疾患の問診 Numetric Rating Scale
個人情報の保護	取得された臨床資料は各研究機関の責任者の下で厳重に施錠保管を行う 情報の共有に関しては、個人の識別が出来ないよう匿名化を行う

お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連様に不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者： 綿引 淳一

所属機関等： 日本臨床歯科学会 東京支部

医療法人 **TeethAlignment** 東京日本橋 **AQUA** 歯科・矯正歯科包括 **CLINIC**

住 所：〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 2-4-1 浮世小路千疋屋 (YUITO ANNEX) 4F

電 話： 03-3281-4618